

## エンパワーメント情報学プログラムのアドミッション・ポリシー

平成26年6月26日  
エンパワーメント情報学  
プログラム運営委員会決定

### 1 趣旨

このアドミッション・ポリシーは、筑波大学大学院の分野を横断する学位プログラムの入学者選抜に係る基本方針（平成24年副学長決定）第2条に基づき、エンパワーメント情報学プログラム（以下「学位プログラム」という。）における教育目標及び求める人材像を明確にするとともに、入学者の選抜方針等を定めるものとする。

### 2 教育目標（学位プログラム法人細則第3条、第8条関係）

学位プログラムは、多様な文化的背景を有する人々が集まる国際社会において、イニシアティブを発揮できるグローバル人材を養成することを目的とする。少子高齢化や地球環境問題を抱える今後の人類社会において、安全性、利便性、心の豊かさといった観点から、人の生活の質を向上させる工学システムが不可欠である。このような背景の下、卓越した独創力に基づく研究力に加え、俯瞰力に裏打ちされた、多角的で複眼的な思考力としての「分断横断力」、研究成果の本質を効果的かつ魅力的に伝える表現力を基盤としてグローバルな舞台で活躍する「魅せ方力」、産官学にわたる実問題を解決できる「現場力」を備えた人材を涵養する。

なお、教育課程については、「人の機能を補完し、人とともに協調し、人の機能を拡張する情報学」である「エンパワーメント情報学」の体系に基づき、人の機能の補完・協調・拡張に関する高度で横断的な知識を身につけるための分野横断コースワークと、社会のニーズに応えるための実践的研究訓練からなる。人をエンパワーするシステムをデザインでき、地球規模の最先端実世界問題を解決しながら新しいアイデアを創出し、世界を牽引することができるグローバル人材に必要な能力の涵養を目指す。

### 3 求める人材像（学位プログラム法人細則第6条関係）

学位プログラムは、専門分野における十分な研究能力を有し、現実の社会に広がるさまざまな地球規模課題に取り組むリーダーとなる資質と強い熱意を持ち、かつ産業界でのグローバルリーダーを目指すキャリア志向のある人材を求める。

### 4 入学者選抜の実施方法

学位プログラムは、募集人員12名の少数精鋭の競争的な選抜を行う。入学者の選抜にあたっては、多様な入学志願者に対応するため、WEB出願による一般入試ならびに本学大学院に合格している学生を対象とした履修者特別選抜などの方式によ

り、募集人員を分割して同一年度内複数回の試験を実施する。特に、海外からの優秀な学生を選抜するため、世界に通用する GRE/GPA 及び「エンパワーメント・グローバルアライアンス」の大学と連携して実施する海外入試を導入する。また、博士課程第3年次編入学あるいは転入学志願者については、教育上の支障がないことが認められる場合に限り、個別の入学試験を行い選抜する。

入学候補者は、口述試験（研究計画・キャリアプラン）、成績証明書、TOEIC・TOEFL のスコア票等（英語を母語としない者対象）に基づき、総合的に評価し選抜するものとする。

#### 5 入学者選抜の実施体制

入学者選抜の円滑で適正な実施を図るため、学位プログラムに入試委員会を組織し、口述・採点・選考の委員を明確にする等、入学試験の実施体制を整える。入試委員会は、エンパワーメント情報学プログラム事務室の協力の下、入学試験を実施し、実施結果により合格候補者判定資料を作成する。学位プログラム教育会議は、合格候補者判定資料に基づいて合格候補者を決定し、グローバル教育院長を通じて学長に報告する。

#### 6 入試ミスの防止

公正な入学者選抜を実施するため、学位プログラムは、入試ミス防止マニュアルを策定するとともに、入念なチェック体制及び点検作業を行うものとする。

以上